

事業実施報告書

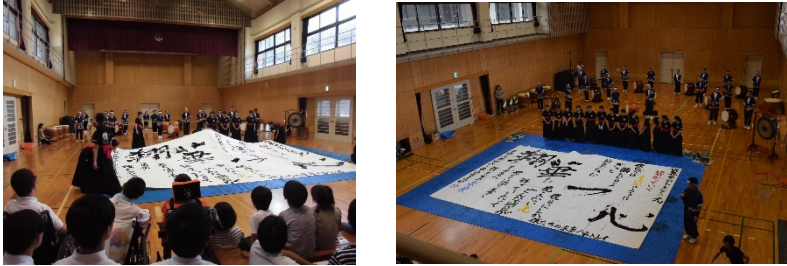
- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【京都府】

学校名【 京都府立西舞鶴高等学校 】

1 実践テーマ	【 II IV 】
2 実施対象者	本校文化祭における京都府立舞鶴支援学校との交流 書道部員13名、交流委員22名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (本校文化祭における舞鶴支援学校との交流事業) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	和太鼓演奏と書道パフォーマンスを通して我が国の文化・伝統を 発信する。障害者への理解、共生社会の形成をめざす。
5 取組内容	<p>本校文化祭における京都府立舞鶴支援学校との交流 <事前交流会 8月30日(金)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴支援学校生徒の太鼓演奏と本校書道部の書道パフォーマンスを合同発表した。(支援学校の小学部から高等部の生徒が見学) ・支援学校の児童生徒と交流する本校の交流生徒が、支援学校の児童生徒と「自己紹介」「合唱」「ゲーム」等を行って文化祭当日の交流の見通しを持たせた。 <p><本校文化祭 9月5日(木)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・書道部員が交流会での様子をビデオ上映した。 ・支援学校の生徒の作品を展示した。



	<p>・舞鶴支援学校生徒と本校の交流生徒がペアを組み文化祭のステージ発表を一緒に観賞したり、展示等を案内するなどして交流し、障害をもつ生徒とふれ合うことで、障害者への理解を深め、共生社会を築くために必要なことを考える機会とした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div>
6主な成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 我が国の文化・伝統の良さを学ぶことができた。 2 他者に気配りすることの大切さを学んだ。 3 障害者に対する理解を深めることができた。 4 互いの違いを認め、尊重する気持ちを育むことができた。
7実践において工夫した点（事業の特色）	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の打合せを丁寧に行い、実施当日に不安を感じないでリラックスした雰囲気で行えるようにした。 ・相手のことをよく考えて行動するよう指導した。
8主な課題等	<p>本校文化祭における京都府立舞鶴支援学校との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流する生徒が一部に限られている。 ・事前の打合せ等を丁寧に行う必要がある。 ・取組内容を工夫する。
9来年度以降の実施予定	<p>本校文化祭における京都府立舞鶴支援学校との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組内容を発展させながら継続して毎年実施する予定である。